

## スミカフレックス 801HQ

タイプ：	エチレン - 酢酸ビニル - 塩化ビニル共重合樹脂エマルジョン	
特 色：	スミカフレックス 801HQは、ポリビニルアルコール保護コロイド系のエチレン - 酢酸ビニル - 塩化ビニル共重合樹脂エマルジョンです。乳化系がポリビニルアルコール保護コロイドですので、他の塩ビ系グレードとは異なる粘性、フィルム特性、配合性を与えます。	
主用途：	接着剤全般	
代表物性：		
外観		乳白色
不揮発分 (%)		50 ± 1
粘度 (mPa・s)		700 ~ 2500
PH		4 ~ 7
平均粒子径 (μm)		0.7
密度 (g/cm <sup>3</sup> )		1.08
MFT ( )		0
粒子荷電		ノニオン
機械安定性		良好
Tg ( )		0
引張強度 (MPa)		12.0
引張伸び (%)		580

## <技術資料：スミカフレックス 801HQ>

### 1. エマルジョン物性

		エマルジョン物性
外観		乳白色
不揮発分	(%)	50 ± 1
粘度	(mPa・s)	700 ~ 2500
PH		4 ~ 7
平均粒子径	(μm)	0.7
密度	(g/cm <sup>3</sup> )	1.08
MFT	( )	0
粒子荷電		ノニオン
機械安定性		良好
Tg	( )	0

### 2. フィルム物性

#### (1) フィルム強伸度

項 目		代 表 値
常態	伸度 (%)	580
	抗張力 (MPa)	12.0

#### 測定条件

フィルム厚み : 約0.15mm  
フィルム形状 : ダンベル3号  
成膜条件 : 23 × 65%RH 7日間乾燥  
引張強度 : 500mm/min

### 3 . 応用例

#### ( 1 ) 水性ビニルウレタン系接着剤

		S-801HQ	S-400HQ	SBR	
主剤物性	不揮発分 ( % )	54.3	56.5	53.4	
	粘度 ( m P a · s )	10100	8260	7860	
経時粘度変化 ( m P a · s )		0 分	10800	15260	12200
		1 5 分	14240	26360	33200
		3 0 分	17300	33800	76300
		6 0 分	24000	34400	295200
		9 0 分	31200	35100	ゲル化
せん断強度 ( M P a )	常態強度	18.3(80)	19.0(90)	18.4(100)	
	煮沸繰り返し強度	5.1(20)	3.3(0)	6.4(50)	
初期割裂強度 ( N / 25mm )		1 0 分	240	260	70
		2 0 分	370	430	100
		3 0 分	420	470	120

## 試験方法

### 接着剤配合

主 剤 : エポキシ/15%PVA 水溶液/炭酸カルシウム = 40/30/30(Wet 比)

硬化剤 : Poly-MDI

接着剤 : 主剤 / 硬化剤 = 100 / 15 (Wet 比)

経時粘度変化 : 接着剤配合直後の粘度を測定し、その後一定時間毎に粘度を測定。初期粘度との比から増粘倍率を求める。  
(BH-10rpm, 35 )

### 初期接着性

基 材 : 樺材 / 樺材 (25 × 30 × 10)

塗布量 : 0.16 ~ 0.18g/25 × 25mm(両面の合計)

圧 縮 : 8kg/cm<sup>2</sup> 10分、20分、30分

評 価 : 割裂強度

### 接着強度 ( J I S K 6 8 0 6 に準拠 )

基 材 : 樺材 / 樺材 (25 × 30 × 10mm)

塗布量 : 0.16 ~ 0.18g/25 × 25mm(両面の合計)

圧 縮 : 8kg/cm<sup>2</sup>、1夜

養生 : 7日

測 定 : 常態・・・そのまま測定

: 煮沸・・・煮沸 4 時間 60 × 20 時間乾燥 煮沸 4 時間  
常温水浸漬 15 分以上 めれたまま測定